

市立千歳市民病院

各診療科研修プログラム

1	内科	1
2	循環器科	3
3	消化器科	4
4	小児科	5
5	産婦人科	6
6	外科	7
7	整形外科	8
8	救急（麻酔科）	9
9	眼科	10
10	泌尿器科	11
11	耳鼻咽喉科	12
12	皮膚科	13
13	精神科（医療法人資生会 千歳病院）	14
14	地域医療（向陽台ファミリークリニック）	15
15	地域医療（広域紋別病院）	16
16	北海道大学病院（短期研修）	17
17	札幌医科大学附属病院（短期研修）	18

市立千歳市民病院 内科 研修プログラム

1 研修期間

必修科目 8週以上（内科一般・総合内科外来研修を含む）

選択科目 4週以上

2 診療科の概要

脂質異常症などの内分泌・代謝疾患、肺癌や気管支喘息・肺炎などの呼吸器疾患といった患者に対して、専門診療を行っている。

さらに、様々な合併症・疾患をかかえる患者に対して全人的な診療を総合内科として行っている。

禁煙外来も木曜日の午後開設し、医師の指導のもと患者に合わせた適切なカウンセリングや治療を提供しており、数多くの患者が禁煙に成功している。

患者の症状によっては、消化器科や循環器科など当院の他科と連携して診療を行うとともに、当院では対応できない治療を必要とする患者には、大学病院や他院とも連携を図り、最善の内科医療を提供している。

3 指導体制（指導医）

院長 伊藤 昭英

診療部長 竹藪 公洋

診療科長 佐藤 健太

※ 指導医以外にも上級医が在籍

4 研修内容

(1) 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟カンファレンス 病棟・ACU	病棟カンファレンス 病棟・ACU	内科外来	病棟・ACU	ジャーナルクラブ 病棟・ACU 上部内視鏡検査
午後	病棟・ACU	病棟・ACU 気管支鏡検査	病棟・ACU 内科カンファレンス	内科外来 気管支鏡検査	病棟・ACU

(2) 外来研修

指導医の下で、数名の患者の問診、診察、検査、オーダー、結果説明、処置・処方等を実際に体験し、評価のフィードバックを受ける。研修医の到達度に合わせて週に1コマまたは2コマを予定している。研修医の興味に合わせて専門検査（気管支鏡検査・上部内視鏡検査）の見学・補助を行う。

(3) 病棟研修

主治医と共に受け持ち患者を実際に診療し、基本的な診察法・検査法・治療法を学び、患者への対処方を研修する。病棟研修では救急患者・重症患者に対してファーストタッチから退院・さらに外来フォローまで臨床医として必要なスキルを身につけられるように研修医の到達度に合わせて研修を行う。重症患者に対してはAcute Care Unit (ACU) での全身管理の研修を行う。

市立千歳市民病院 循環器科 研修プログラム

1 研修期間

必修科目 1 2 週以上（内科一般外来研修を含む）

選択科目 4 週以上

2 診療科の概要

循環器科は、緊急性の高い循環器系疾患の患者を中心に、地域の 2 次医療を提供することが当科の大きな使命となっています。2 次救急を担当する地域基幹病院であるため、特殊な疾患に偏りすぎず、比較的 **Common** な疾患が集まります。

また、循環器系疾患は糖尿病を含む生活習慣病が背景にあることが多く、当科では糖尿病に対する診療も当科で行っていることが大きな特徴の一つです。

3 指導体制（指導医）

診療科長 池田 大輔

主任医長 小岩 弘明

※ 指導医以外にも上級医が在籍

4 研修内容

(1) 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	新患外来	病棟(救急)	病棟(救急)	病棟(救急)	病棟(救急)
午後	救急	カテーテル 検査	カテーテル 検査	カテーテル 検査	運動負荷

(2) 循環器救急研修

救急外来では、上級医・指導医のサポート下で、急性心筋梗塞・急性心不全・急性大動脈解離などの循環器急性期疾患を経験する。

(3) 一般外来研修

新患外来で週 1-2 回、指導医のサポート下で、心不全・狭心症・不整脈が疑われる患者の診察や、糖尿病を含む生活習慣病診療を学ぶ。

(4) 病棟研修

担当患者は 2~5 名、救急や新患外来で自分が担当した患者を中心に担当する。担当患者を中心に心エコーをして自身で評価できることも目標とする。

市立千歳市民病院 消化器科 研修プログラム

1 研修期間

必修科目 4週以上（内科一般外来研修を含む）

選択科目 4週以上

2 診療科の概要

消化器科では、上部・下部消化管、肝、胆道、膵疾患を中心とした消化器病全般の診療を行っている。外科との定期的なカンファレンス（症例検討）を行い、患者一人ひとりの病状に合った最良の治療を提供している。

当院は、消化器病学会認定施設、消化器内視鏡学会指導施設であり、専門医・指導医による研修医の教育も行っている。

3 指導体制（指導医）

診療科長 大久保 俊一

主任医長 平石 哲也

※ 指導医以外にも上級医が在籍

4 研修内容

(1) 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来	病棟	病棟	外来	検査
午後	検査	カンファレンス	検査	検査	検査

(2) 外来研修

指導医・上級医の下で数名の患者の問診、診察、検査、オーダー、結果説明、処置・処方等を実際に体験し、評価のフィードバックを受ける。

(3) 病棟研修

主治医と共に受け持ち患者を実際に診療し、基本的な診察法・検査法・治療法を学び、患者への対処方を研修する。

市立千歳市民病院 小児科 研修プログラム

1 研修期間

必修科目 4週以上

選択科目 4週以上

2 診療科の概要

千歳・恵庭医療圏は北海道の中でも人口が増加している数少ない地域で、医療圏内には2019年現在日本最大の児童数を有する小学校が存在します。千歳市民病院は、同医療圏において小児の二次救急患者を受け入れている唯一の施設であり、また年間500件前後の分娩がある主要な周産期施設でもあります。

小児科外来では、感染症などの一般診療をはじめ、アレルギー疾患、腎疾患、神経精神疾患、心疾患、内分泌疾患などに対する専門外来診療を行っています。

小児科病棟は18床と多くはありませんが小児人口の多さを反映して病床利用率は高く、感染症、気管支喘息発作、川崎病などの急性期疾患の診療のほか、慢性腎炎やネフローゼ症候群などの腎疾患の診療、食物アレルギーの経口負荷試験を行っています。MRIなど鎮静が必要な検査における処置も小児科が行います。当院で出生した全ての新生児は小児科医が診察を行い、病児の診療も担当します。

救急外来では365日24時間体制で二次救急を担当し、救急車や一次救急施設からけいれん重積、腸重積症、重篤な喘息発作、アナフィラキシー、異物誤飲などの小児救急疾患を受け入れています。症例はまず当科に集まるため、研修に適した環境といえます。

3 指導体制（指導医）

診療科長 中本 哲（アレルギー専門医、新生児蘇生インストラクター）

嘱託医 内藤 広行（血液専門医）

※ 指導医以外にも上級医が在籍

4 研修内容

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟研修 新生児診察	病棟業務 (外来研修)	外来研修 (病棟研修)	病棟研修 (外来研修)	病棟研修 新生児診察
午後	病棟研修 (外来見学)	新生児健診 周産期カン ファレンス	病棟研修 (帝王切開) 小児科カン ファレンス	病棟研修 (予防接種) (外来見学)	病棟研修 (外来見学)
随時	救急車対応、分娩（小児科立ち会い依頼のある場合）				

市立千歳市民病院 産婦人科 研修プログラム

1 研修期間

必修科目 4週以上

選択科目 4週以上

2 診療科の概要

外来診療に関しては、良性・悪性腫瘍、感染症、更年期症候群など一般的な婦人科疾患や妊婦検診などを行っている。

入院診療では婦人科に関しては子宮筋腫・卵巣腫瘍・性器脱などの良性疾患を中心に手術などを行っている。産科に関しては年間の分娩件数は450～500件（約100件の帝王切開を含む）程度であり切迫早産や妊娠高血圧症候群の治療・管理などを行っているが、未熟児出産が予測される場合などは札幌・苫小牧の周産期センターに母体搬送している。

3 指導体制（指導医）

上席医監 津村 宣彦

診療科長 越田 高行

医長 菊地 研

4 研修内容

(1) 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来/病棟	外来/病棟	外来/病棟	外来/病棟	外来/病棟
午後	手術	病棟/カンファレンス	手術	検査	手術

(2) 外来研修

指導医の外来診察や患者対応に立ち会い、妊娠・分娩にいたる過程の理解を深め、産婦人科医として基本的な、臨床医として基本的な知識・技術・診察を研修する。

(3) 病棟研修

指導医の指導のもと、入院中の患者管理について研修し、妊産婦管理・診断・検査・手術、術後管理等を担当しながら、産婦人科診療に必要な技能、知識をより確実なものとする。

市立千歳市民病院 外科 研修プログラム

1 研修期間

必修科目 4週以上

選択科目 4週以上

2 診療科の概要

外科では、消化器、呼吸器、乳腺、小児などの外科領域全般の疾患に対する手術を月曜日から金曜日まで毎日行っています。ガイドラインに基づき根治性や安全性を担保しながら積極的に鏡視下手術にも取り組んでおり、消化器悪性疾患に関しては6割以上を腹腔鏡下に行っています。

千歳市の外科救急体制の中心的役割を担っており、2次救急患者に関しては365日、24時間体制で受入れを行っています。

緩和ケア外来や緩和ケア病床の運用も外科で行っており、外科疾患のみならず緩和ケアを必要とする全領域の疾患に対する症状緩和の中心的な役割も担っています。

3 指導体制（指導医）

副院長 福島 剛

医長 許 理威

※ 指導医以外にも上級医が在籍

4 研修内容

(1) 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟回診／ 外来診療	病棟回診／ 外来診療	病棟回診／ 外来診療	病棟回診／ 外来診療	病棟回診／ 外来診療
午後	手術	手術／消化 器科合同カ ンファレン ス	手術	手術／検査 (CVポー ト留置等)	手術／外科 カンファレ ンス

(2) 外来研修

指導医・上級医の指導のもと、実際に患者の診察や対応を行い、外科的診断、治療における基本的手技、能力、知識の取得を目指していただきます。

(3) 病棟研修

指導医・上級医の指導のもと入院患者を受け持ち、手術前後の全身管理を中心に標準的な外科的管理能力の取得を目指していただきます。

市立千歳市民病院 整形外科 研修プログラム

1 研修期間

選択科目 4週以上

2 診療科の概要

整形外科では、骨・関節などの骨格系、筋肉、神経系からなる「運動器」の痛みや機能を改善する治療を行っている。

千歳・恵庭市内や近郊の整形外科からの紹介により、入院や手術が必要となる外傷や脊椎、肩・膝の疾患の専門的な治療を行っているほか、札幌医科大学附属病院整形外科の各専門医師により、他部位の先進的な技術を必要とする手術治療を行っている。

3 指導体制

主任医長 金泉 新

医長 黒川 敬文 ※指導医以外にも上級医が在籍

4 研修内容

(1) 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来/検査/病棟	外来/検査/病棟	外来/検査/病棟	外来/検査/病棟	外来/検査/病棟
午後	手術	手術	手術	手術	手術

(2) 外来研修

- ・病歴聴取を学ぶ
- ・必要な検査指示を出す
- ・ギプス固定、創処置、縫合、局所麻酔、間接注射などの基本手技を指導医・上級医の下で学ぶ。
- ・救急症例（骨折、脱臼、多発外傷など）を経験する。
- ・指導医・上級医の診察、説明、治療を理解し、自ら診療を行えることを目指す。

(3) 病棟研修

入院から退院までを受け持ち、病棟での指示、処方、基本検査、周術期管理、リハビリ処方などを学ぶ。

(4) 手術

年間700件以上の様々な手術を実施しており、指導医・上級医の指導の下、助手及び執刀医として研修を行う。

市立千歳市民病院 救急（麻酔科）研修プログラム

1 研修期間

必修科目 12週以上

選択科目 4週以上

※麻酔科における研修期間を、4週を上限として救急の研修期間とすることができる。

2 診療科の概要

当院は千歳市の二次医療機関（手術や入院を必要とする中等症以上の患者を担当）を担当しておりますが、実質的には三次医療機関相当の患者も受け入れしております。

救急外来にて約1,600件の救急車搬入を含む、年間約7,000名の患者を受け入れており、初期診療担当医および該当各専門診療科との連携による過不足のない診療を心掛けています。

また、walk-in患者さんに関しては救急外来看護師による院内トリアージを実施することで緊急性の評価を行っています。初期診療を行い、入院が必要な場合は該当する専門診療科へ引き継ぎを行い、病院全体として救急をカバーする方針となっています。

3 指導体制（指導医）

副院長（救急室長） 福島 剛

麻酔科 診療科長 塚窪 俊裕

麻酔科 診療科長（救急室担当） 四釜 裕睦

4 研修内容

1) 救急研修

研修医の皆さんには指導医（救急担当医）とともに救急車搬入された傷病者の診療を中心に担当していただき、緊急度を踏まえた初期診療を学んでいただきます。

また、入院に際して該当する専門診療科に引き継いだ後も、診療科の垣根を超えた指導を受けることができます。

平日（月曜日～金曜日）の日勤帯（午前8時30分～17時）勤務を基本としており、研修医の希望に合わせて夜勤および休日の研修も可能となっています。

一人一人の患者さんを大切に問診や身体診察にも重きを置いた診療を行う方針です。

また、off-the-job trainingとして外傷診療やCPRについての講義も適宜行っております。研修期間中に1-2回程度、全診療科医師の前で症例発表を行っていただきます。

2) 麻酔科研修

全身麻酔管理を中心に、挿管から抜管までの研修を行うとともに、硬膜外麻酔、末梢神経ブロックを経験する。

市立千歳市民病院 眼科研修プログラム

1 研修期間

選択科目 4週以上

2 診療科の概要

眼科では、眼科領域全般について診療を行っている。主な診療内容としては、白内障手術を中心に、緑内障の診断治療、加齢黄斑変性症に対する硝子体内注射、糖尿病網膜症などの網膜疾患のレーザー治療や、内反症（逆さまつ毛）、流涙症、ドライアイの治療なども行っている。

3 指導体制（指導医）

診療科長 田下 亜佐子

※ 指導医以外にも上級医が在籍

4 研修内容

(1) 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来	外来	外来	外来	外来
午後	検査	手術	検査	手術	検査

(2) 検査

視力検査、眼圧測定、視野検査、細隙灯顕微鏡検査、眼底検査、蛍光眼底造影検査、光干渉断層検査などの技術を習得する。

(3) 診断

疾患についての知識を身につける。

問診、検査結果を解釈・診断し、適切な治療計画を立てる。

(4) 治療・手術

指導医・上級医の指示の下でレーザー治療、内反症などの外眼部手術を行うほか、白内障手術の助手をする。

市立千歳市民病院 泌尿器科 研修プログラム

1 研修期間

選択科目 4週以上

2 診療科の概要

泌尿器科では、尿の通り道（腎臓、尿管、膀胱、尿道）、男性の生殖器（前立腺、陰茎、精巣、精巣上体）及びホルモン産生臓器である副腎の病気の診断から治療までを全般的に行うとともに、慢性腎不全に対する血液透析・腹膜透析も行っている。

また、排尿障害に対する生活指導や薬物療法、がんの早期診断ならびに治療、がんに対する緩和治療、保存期腎不全患者への腎代替療法（血液透析、腹膜透析、腎移植）の提示とその実践などに積極的に取り組んでいる（腎臓外来の開設）。

3 指導体制（指導医）

診療部長 新藤 純理

4 研修内容

（1） 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟回診 外来 透析回診	病棟回診 外来 透析回診	病棟回診 外来 透析回診	病棟回診 外来 透析回診	病棟回診 外来 透析回診
午後	検査	手術	手術	腎臓外来/ 病棟カンファレンス	隔週にて 外来カンファレンス 透析カンファレンス

（2） 外来研修

患者の病歴聴取、問診、基本的な診察、検査、診断、治療という一連の流れを指導医・上級医の下で経験するとともに、検査結果からの診断、治療法について考察し判断力を身に付ける。

（3） 病棟研修

指導医・上級医の指示に従い、入院患者を受持ち、基本的診療報を身に付け、周術期の管理及び泌尿器科疾患全般のマネージメントを学ぶ。

市立千歳市民病院 耳鼻咽喉科 研修プログラム

1 研修期間

選択科目 4週以上

2 診療科の概要

耳鼻咽喉科では、中耳炎、難聴、めまい、顔面神経麻痺、慢性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、扁桃炎、咽喉頭炎、頭頸部腫瘍などの診断や治療を行っている。

また、手術については、鼓膜チューブ挿入術、アデノイド切除術、扁桃摘出術、内視鏡下の鼻副鼻腔手術、声帯ポリープ切除術、頭頸部良性腫瘍切除術などを行っている。

3 指導体制（指導医）

診療科長 渡邊 一正

4 研修内容

(1) 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来／病棟	外来／病棟	外来／病棟	手術・検査	外来／病棟
午後	外来	検査	検査	手術・検査	外来

(2) 外来研修

外来において、患者の病歴聴取、問診、基本的な診察、検査、診断、治療という一連の流れ及び耳鼻咽喉科疾患の病態を指導医の下で経験する。

(3) 病棟研修

指導医・上級医の指導のもと、入院患者を受け持ち、診察、検査、手術を含めた治療を研修する。

市立千歳市民病院 皮膚科研修プログラム

1 研修期間

選択科目 4週以上

2 診療科の概要

皮膚科では、皮膚科一般に加え、多様な皮膚疾患に対する診療を行っている。

皮膚科の疾患としては、単純に目で見ても皮膚に症状があれば全て対象となり、外からの刺激で起こる湿疹・皮膚炎、細菌・真菌やウイルスによる感染症、物理、化学的障害、様々なアレルギー性・炎症性疾患が挙げられる。

さらには、皮膚の腫瘍、遺伝的な異常、年齢的な変化による異常など、皮膚疾患は非常に多種であることが特徴である。皮膚の異常が内臓疾患のサインである場合もあり（これをデルマトロームといいます）、内科的疾患が見つかるケースもある。皮膚科では、これら皮膚に生じた変化を的確に診断し治療に当たっている。

また、アトピー性皮膚炎の短期教育入院も積極的に行っており、入院期間中に治療と同時に、患者様本人と御家族の方にも疾患についての正しい知識から治療、特に軟膏の塗り方まで、正しく理解し習得していただけるよう個別講義も行っている。

北海道大学病院皮膚科と密接に連携をとっており、最善の医療が受けられるよう努めている。

3 指導体制（指導医）

皮膚科診療科長 大田 光仁

※ 指導医以外にも上級医が在籍

4 研修内容

(1) 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来／病棟	外来／病棟	外来／病棟	外来／病棟	外来／病棟
午後	外来	外来	検査・手術	外来	外来

(2) 外来研修

- ・皮膚科診療の基本を身に付け、皮膚科特有の検査の理解を深める。
- ・ステロイド外用剤などの外用剤や抗ヒスタミン薬、副腎皮質ステロイドなどの使用方法を習得する。

(3) 病棟研修

- ・入院から退院までを受け持ち、病棟での指示、処方、基本検査、周術期管理、リハビリ処方などを学ぶ。

【医療法人 資生会 千歳病院】 市立千歳市民病院 精神科 研修プログラム
 ※精神科の研修は、協力型臨床研修病院の医療法人資生会千歳病院で実施します。

1 研修期間

必修科目 4週以上

2 千歳病院の概要

昭和 53 年に精神科病院としてスタートし、精神科医療を中心として市内に介護老人保健施設や自立訓練施設を開設しております。

平成 18 年の病院新築移転を機に認知症治療病棟を開始し、物忘れ外来、訪問看護、精神科デイケア、リワークデイケアなどにも積極的に取り組み、良質な医療サービスを提供するよう日々努力しております。

3 指導体制（指導医）

理事長 佐藤 正俊

※ 指導医以外にも上級医が在籍

4 研修実施責任者

院長 芦澤 健

5 研修内容

(1) 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来／病棟	外来／病棟	外来／病棟	外来／病棟	外来／病棟
午後	外来／病棟	外来／病棟	外来／病棟	外来／病棟	外来／病棟

※カンファレンスは水曜日の午後に実施

(2) 外来研修・病棟研修

- ・ 外来、入院治療を経て社会復帰に至る精神科医療の特徴を理解する。
- ・ 慢性期患者とともに、急性期入院患者の診療も経験する。
- ・ 向精神薬（抗精神病薬、抗うつ薬、抗不安薬、睡眠薬など）の作用・副作用・用法について学ぶ。
- ・ 症状に応じ、指導医、上級医、他職種と協調し、薬物療法と心理社会的療法をバランスよく組合せた、治療計画を立案することを学ぶ。
- ・ 院内外のグループ活動や自助グループに参加することで、退院後の地域生活のイメージをつかみ、地域の社会資源についての理解を深める。

【向陽台ファミリークリニック】市立千歳市民病院 地域医療 研修プログラム

※地域医療研修の実施先は、向陽台ファミリークリニックか広域紋別病院のいずれかから選択可能です。

1 研修期間

必修科目 4週以上

2 向陽台ファミリークリニックの概要

千歳市郊外にある向陽台地区で2014年、当時唯一のクリニックが閉院となり、地域の要請を受ける形で、2017年に開業した。

向陽台地区は、初期の造成地エリアでは高齢化率が30～40%、比較的新しいエリアであるクリニック周辺は20%、一番新しいエリアでは6%以下と、エリアごとの年齢構成に顕著な差があり、生活習慣病の高齢者から、予防接種を受ける赤ちゃんまで、患者の層は幅広い。

当院は「内科」、「小児科」を標榜しているが、患者様からは「家庭医」という認識で、どこに相談したらよいのか分からない悩み、心の問題なども含めたご相談をいただくことが多く、健康なときの「予防医学」から、病気になったときの「医療」、最期を迎えるときの「終末期ケア」まで、幅広く対応している。

3 指導体制（上級医）

院長 中島 徹

4 研修実施責任者

院長 中島 徹

5 研修内容

(1) 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	外来診療	外来診療	外来診療	外部実習	外来診療	外来診療
午後	訪問診療	訪問診療	講義、勉強会	外部実習	訪問診療	—

(2) 外来研修

指導医と共に外来において患者の診療を行い、地域医療における基本的な診療・治療・患者及び家族との人間関係等について研修する。

(3) 訪問診療

指導医と共に、高齢者や在宅での治療を行っている患者の訪問診療を行い、各種医療・介護・福祉などの分野の専門家と連携し、患者個々に対する最良の医療を如何に提供するかについて研修する。

(4) 外部実習

クリニック周囲の薬局、介護事業所、訪問看護ステーション等での実習を行い、他職種の仕事内容や役割を知ること、より深いレベルでの多職種連携が実践できるよう学習する。

【広域紋別病院】市立千歳市民病院 地域医療 研修プログラム

※地域医療研修の実施先は、広域紋別病院か向陽台ファミリークリニックのいずれかを選択可能です。

1 研修期間

必修科目 4週以上

2 研修実施責任者

院長 曾ヶ端 克哉

3 広域紋別病院の概要

広域紋別病院は、広大なオホーツク西紋別地域における住民の生命と健康を守るため、平成23年4月に、道立紋別病院から移管され設立された。西門別地域の5市町村（紋別市、滝上町、興部町、西興部村、雄武町）が共同で運営する病院である。

二次医療圏の中核病院であり、他の二次医療圏までは約50km、3次医療圏の中心病院までは、約100kmの距離を要する環境の中、二次医療圏の中核病院としての大きな役割を担っている。

- ・病床数 150床
- ・医師数 23名
- ・年間新規外来患者数：10,563人
- ・年間新規入院患者数：2,339人

4 診療科

内科(総合診療内科・循環器内科)	消化器内科	呼吸器内科
外科	産婦人科	小児科
眼科	整形外科	精神科
耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科
脳神経内科	血液内科	人工透析
麻酔科	乳腺外来	

【北海道大学病院】短期研修（逆たすきがけ研修）

1 概要

初期研修2年次（選択科目研修中）に、北海道大学病院で短期研修を受けることで、高度で専門的な診療を経験する。

2 研修実施責任者

教授 平野 聡

3 北海道大学病院の概要（ホームページから抜粋）

北海道大学病院は診療内容や外来・入院患者数など名実ともに北海道内における Center of Center の医療機関です。また、北海道大学病院では common disease に対する診療から難治性疾患に対する先進的な医療まで幅広く行われており、「北海道の最後の砦」の役割を果たしています。

- 病床数：944 床
- 医師数：610 人
- 新規年間外来患者数：128,096 人（令和4年度実績）
- 新規年間入院患者数：132,250 人（令和4年度実績）

4 研修期間

1週間～3ヶ月程度（診療科によって異なる）

5 診療科（定員に達している場合は研修不可）

内科Ⅰ、内科Ⅱ、消化器内科、循環器内科、神経内科、消化器外科Ⅰ、消化器外科Ⅱ、循環器・呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、産婦人科、眼科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、精神科神経科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、脳神経外科、形成外科、核医学診療科、リハビリテーション科、血液内科、救急科（宿直メイン）、救急科（日勤メイン）、腫瘍内科、病理診断科、感染制御部 検査・輸血部、臨床研究開発センター、臨床遺伝子診療部、超音波センター

【各診療科の詳細は北海道大学病院ホームページ参照】

※北海道大学病院は選択科目に加えて必修科目についても連携病院となっているが、精神科を除く必修科目については原則当院で研修を行い、やむを得ない場合に北海道大学病院で研修を行うものとする。

【札幌医科大学附属病院】短期研修（逆たすきがけ研修）

1 概要

初期研修2年次（選択科目研修中）に、札幌医科大学附属病院で短期研修を受けることで、高度で専門的な診療を経験する。

2 研修実施責任者

病院長 渡辺 敦

3 札幌医科大学附属病院の概要（ホームページから抜粋）

札幌医科大学附属病院は、医科系大学附属の総合病院として29診療科、932の施設を有し、教育研修の場として医師の育成に貢献するほか、高度先進医療や診療体制の整備により道民の要望に応えるとともに、遠隔地の多い本道における地域医療の発展や災害時の受け入れ医療機関として大きな役割を担っています。

- 病床数：905床
- 医師数：256人
- 新規年間外来患者数：17,919人（令和4年度実績）
- 新規年間入院患者数：17,380人（令和4年度実績）

4 研修期間

1週間～3ヶ月程度（診療科によって異なる）

5 診療科（定員に達している場合は研修不可）

消化器内科		免疫・リウマチ内科		循環器・腎臓・代謝内分泌内科
呼吸器・アレルギー内科		腫瘍内科		血液内科
脳神経内科		総合診療科		消化器・総合、乳腺・内分泌外科
心臓血管外科		呼吸器外科		整形外科
脳神経外科		産婦人科		小児科
眼科		皮膚科		形成外科
泌尿器科		耳鼻咽喉科		神経精神科
放射線治療科		放射線診断科		麻酔科
リハビリテーション科		高度救命救急センター		集中治療部
検査部		病理部		神経再生医療科
遺伝子診療科				

【各診療科の詳細は札幌医科大学附属病院ホームページ参照】

※札幌医科大学附属病院は選択科目に加えて必修科目についても連携病院となっているが、精神科を除く必修科目については原則当院で研修を行い、やむを得ない場合に札幌医科大学附属病院で研修を行うものとする。